



## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社グリッド 上場取引所 東  
コード番号 5582 URL <https://gridpredict.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我部 完  
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 渋谷 淳一 (TEL) 03-5468-8800  
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第3四半期の業績(2023年7月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	1,050	3.1	103	△54.1	83	△63.0	66	△73.8
2023年6月期第3四半期	1,019	—	226	—	225	—	255	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年6月期第3四半期	14.41		12.82					
2023年6月期第3四半期	70.24		—					

- (注) 1. 2024年6月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。  
2. 2023年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。  
3. 2024年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社株式は2023年7月7日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	3,692	3,297	89.3
2023年6月期	1,576	1,166	73.9

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 3,296百万円 2023年6月期 1,164百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	0.00	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,753	29.5	342	64.3	323	58.5	284	24.4	61.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期3Q	4,693,776株	2023年6月期	3,636,000株
2024年6月期3Q	41株	2023年6月期	—株
2024年6月期3Q	4,642,256株	2023年6月期3Q	3,636,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな景気の回復が続く中で金融政策正常化へと向かい始めたものの、ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化により原油価格の高騰局面が長引く中で円安が進行し、エネルギー価格は高止まり、先行きの不透明な状況が続きました。そのため、様々なリスクを踏まえたうえでの安定的かつ経済的なエネルギーの供給体制が引き続き求められ、エネルギー消費の効率化が社会全体の重要な課題の一つとして考えられております。

このような状況下、当社は電力・エネルギー、物流・サプライチェーン、都市交通・スマートシティの3分野に注力し、電力需給計画、プラント制御、配船計画、生産計画、都市計画、空調熱源制御等に対して計画最適化を行うAIエンジン及びプラットフォームの開発、運用・サポートを一貫して提供しております。これまでの計画業務は、オペレーションを熟知した熟練人材による多大な労力により成立しておりましたが、AI技術や数値最適手法を用いた当社の計画最適化サービスは、複雑かつ不確実性の高いビジネス環境下でも短時間で最適な計画を提供し、属人性を排することを可能としております。加えて、電力や物流等の事業会社を中心にエネルギー消費量の削減を可能とし、投資効果を明示できるサービスでもあることから、当社の事業に対する期待は一層高まっております。

当第3四半期累計期間は、引き続き電力・エネルギー、物流・サプライチェーン、都市交通・スマートシティの3分野に注力し、電力・エネルギー及び物流・サプライチェーン分野においては、既存顧客の本番導入に向けた開発が進捗いたしました。特に、物流・サプライチェーン分野においては複数の運用・サポート案件が開始され、相対的に当該期間のストック型売上が大きくなり、その比率が伸びました。これら本番導入に向けた一貫したサービスの提供に伴い、当該期間は既存顧客への開発が中心となりましたが、主なサービス区分における取引先数は微増、顧客平均売上は横ばいとなりました。

当社は、AIエンジン及びプラットフォーム開発をフロー型売上、運用・サポートをストック型売上として定義しておりますが、当第3四半期累計期間の電力・エネルギー分野の合計売上高は451百万円(前期比59.4%増)、うちフロー型売上は369百万円(前期比86.3%増)でストック型売上は82百万円(前期比3.0%減)、物流・サプライチェーン分野の合計売上高は444百万円(前期比13.4%減)、うちフロー型売上は273百万円(前期比36.0%減)でストック型売上は170百万円(前期比100.1%増)、都市交通・スマートシティ分野の合計売上高は135百万円(前期比26.0%減)、うちフロー型売上は104百万円(前期比40.8%減)でストック型売上は30百万円(前期比364.1%増)、社会インフラ3分野に分類されないその他の合計売上高は19百万円(前期比52.4%減)となりました。

また、当社は開発体制の強化に向けて優秀なエンジニアの採用を行うことで今後の事業拡大に向けた取り組みを進めており、当第3四半期会計期間末におけるエンジニアは63名(前期比18.9%増)となりました。このことから、製造費用におけるエンジニアの人件費は457百万円(前期比33.8%増)となりました。

以上より、当第3四半期累計期間について、売上高は1,050百万円(前期比3.1%増)となり、営業利益103百万円(前期比54.1%減)、経常利益83百万円(前期比63.0%減)、四半期純利益66百万円(前期比73.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は3,692百万円となり、前事業年度末と比較して2,116百万円増加いたしました。流動資産は3,394百万円となり、前事業年度末と比較して2,117百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,013百万円、売掛金及び契約資産が107百万円増加したことによるものであります。固定資産は298百万円となり、前事業年度末と比較して0百万円減少いたしました。これは主にソフトウェアの取得により無形固定資産が4百万円増加した一方で、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が2百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は394百万円となり、前事業年度末と比較して15百万円減少いたしました。これは主に長期借入金金が46百万円、その他に含まれる未払費用が25百万円それぞれ減少した一方で、その他に含まれる未払法人税等が32百万円、契約負債が18百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は3,297百万円となり、前事業年度末と比較して2,131百万円増加いたしました。これは主に東京証券取引所グロース市場への株式上場に伴う公募増資の実施により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,031百万円、四半期純利益の計上により利益剰余金が66百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年8月14日に公表いたしました「2023年6月期決算短信」に記載した内容から変更はございません。当期は、電力・エネルギー分野におけるAI開発及びプラットフォーム開発の追加受注の影響や物流・サプライチェーン分野における新規顧客獲得が下期に集中しているため、売上高は当第4四半期会計期間が最も大きくなる見通しです。しかし契約締結の遅れや当期の開発スコープ縮小等により、最大で売上高が16億円程度、営業利益が3億円程度まで下振れる可能性があります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	671,809	2,684,951
売掛金及び契約資産	573,798	681,080
その他	31,687	28,411
流動資産合計	1,277,296	3,394,444
固定資産		
有形固定資産	9,680	9,273
無形固定資産	130,640	134,951
投資その他の資産	158,497	153,919
固定資産合計	298,818	298,144
資産合計	1,576,114	3,692,588
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	62,870	68,410
賞与引当金	—	23,254
その他	275,237	283,295
流動負債合計	338,107	374,960
固定負債		
長期借入金	71,630	19,630
固定負債合計	71,630	19,630
負債合計	409,737	394,590
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	1,132,473
資本剰余金	1,394,500	2,426,973
利益剰余金	△329,738	△262,859
自己株式	—	△179
株主資本合計	1,164,761	3,296,408
新株予約権	1,615	1,589
純資産合計	1,166,377	3,297,998
負債純資産合計	1,576,114	3,692,588

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,019,022	1,050,340
売上原価	282,982	299,946
売上総利益	736,040	750,394
販売費及び一般管理費	509,468	646,433
営業利益	226,571	103,960
営業外収益		
受取利息	377	389
受取保険料	844	215
物品売却益	258	1,080
業務受託手数料	—	601
その他	313	356
営業外収益合計	1,793	2,643
営業外費用		
支払利息	—	896
上場関連費用	2,345	21,667
補修費用	327	574
その他	—	7
営業外費用合計	2,672	23,146
経常利益	225,691	83,457
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	225,691	83,457
法人税、住民税及び事業税	1,717	13,624
法人税等調整額	△31,433	2,953
法人税等合計	△29,715	16,578
四半期純利益	255,407	66,878

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月7日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年7月6日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式876,000株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ862,334千円増加いたしました。

また、2023年8月7日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式172,200株の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ169,513千円増加いたしました。

さらに、新株予約権の行使による増加を含め、当第3四半期会計期間末において、資本金が1,132,473千円、資本剰余金が2,426,973千円となりました。

(セグメント情報等)

当社は、AI開発事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。